



明治大学校友会

福岡支部だより

明治大学校友会福岡市地域支部事務局

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4-1-2  
セントラルホテルフクオカ内  
TEL 092-712-1212

# 風のふくおか

25号

2010年1月

## 謹賀新年



<リバティータワー>



<和泉校舎>



<生田校舎>



<アカデミーコモン駿河台校舎>

# 明治大学校友会 会長 向殿政男氏の抱負

全国校友富山大会が9月27日(日)、富山県民会館で行われました。そこでこの度明治大学校友会会長に就任された向殿政男氏より「今後の校友会のあり方について」と題して講演がありました。内容はご自分の自己紹介から始まり、校友会の課題、私の基本的方策、これからの校友会のあり方、新しい時代の校友会へ向けてなど、パワーポイントを使って分かりやすく、かつ情熱的に発表されました。新会長の抱負を生き生きと感じましたので、皆様にご紹介いたします。



明治大学校友会 会長 向殿政男

## 今後の校友会のあり方について

### 自己紹介

#### 学歴：

1955 (昭和30) 年3月	明治小学校 (江東区立)	卒業
1958 (昭和33) 年3月	明治大学付属明治中学校	卒業
1960 (昭和35) 年3月	明治大学付属明治高等学校	卒業
1965 (昭和40) 年3月	明治大学工学部電気工学科	卒業
1967 (昭和42) 年3月	明治大学大学院工学研究科 電気工学専攻修士課程	修了
1970 (昭和45) 年3月	明治大学大学院工学研究科 電気工学専攻博士課程	修了 工学博士 (明治大学)

#### 職歴：

1970 (昭和45) 年4月	明治大学工学部電気工学科	専任講師
1978 (昭和53) 年4月	明治大学工学部電子通信工学科	教授
1986 (昭和61) 年4月	明治大学計算センター + 情報科学センター	所長 (8年間)
1989 (平成元) 年4月	明治大学理工学部情報科学科	教授 (現在)
1992 (平成4) 年4月	明治大学	評議員 (8年間+4年間)
1996 (平成8) 年4月	明治大学大学院理工学研究科	委員長 (4年間+6年間)
2002 (平成14) 年10月	明治大学理工学部	学部長 (6年間)
2008 (平成20) 年4月	明治大学大学院理工学研究科 新領域創造専攻安全学系	所属 (現在)

#### 同窓会関連履歴：

1992 (平成4) 年11月	総明会 (明治中学・高等学校同窓会)	会長 (11年間)
1995 (平成7) 年5月	明治大学校友会	副会長 (8年間)
1999 (平成11) 年11月	第2回 明治大学ホームカミングデー 実行委員長 (第1回副実行委員長)	
2002 (平成14) 年7月	東京駿河台ライオンズクラブ	会長
2009 (平成21) 年7月	明治大学校友会	会長 (現在)

#### 専門分野：

- (1) 情報学：特に、ファジィ理論、人工知能、情報システム、ネットワークセキュリティ
- (2) 安全学：特に、機械安全、製品安全、労働安全、ロボット安全、フェールセーフ理論、
- (3) 論理学：特に、論理数学、多値論理、ファジィ論理

#### 授業科目：

- ・ (学 部) 情報科学概論、ファジィ理論
- ・ (大学院) 安全学特論、システム安全学特論、情報論理数学特論

#### 社会貢献経歴：

- 宇宙開発事業団 有人サポート委員会 委員
- 原子力安全委員会 専門委員
- 日本機械工業連合会 機械安全標準化特別委員会委員長
- 中央労働災害防止協会 機械設備安全促進協議会 委員長
- 日本学術会議 連携会員
- 経済産業省消費経済審議会 委員 (製品安全部会 部会長)
- 内閣府 国民生活審議会 臨時委員
- 国土交通省 社会資本整備審議会 臨時委員
- 安全技術応用研究会 会長
- アジアファジィシステム学会 会長
- 私立大学情報教育協会 会長

(参照：私のホームページ：<http://www.sys.cs.meiji.ac.jp/~masao/>)

## 明治大学校友会の理念

### 理念

- ・ 校友は大学の友人 (大学と校友とは一体)
- ・ 大学は校友を支援し、誇りに思う
- ・ 校友は大学を賛助支援し、相互の協力親睦を図る (現在の学校法人明治大学校友規則第6条)
- ・ 明治大学を賛助し、会員相互の親睦を図ることを目的とする (現在の明治大学校友会会則第2条)

## 現在の明治大学校友会の構成

### 組織

- 終身会費制 (3万円：2004年より予納制復活)
- 県単位支部：54支部 (東京5、埼玉・千葉・神奈川2、他各県1) + 海外2支部
- 地域支部：204支部
- 住所判明校友数：約33万人

### 会議

- 代議員総会・支部長会・本部員会 (常任本部員会)
- 正・副会長会議・委員会 (総務、企画、組織、広報、財務)

## 明治大学校友会の特徴

- ・ 伝統と歴史 ・ 全国大会の盛大な開催
- ・ 組織がしっかりと出来た ・ 予納制の復活

## 校友会の課題

- ・ 活動の不振な支部が存在する (マダラ模様)
- ・ 高齢化した支部が存在する (マダラ模様)
- ・ 若手の未参加
- ・ 各校友とのコミュニケーションの不足
- ・ 教職員と校友会との距離の存在
- ・ 地域支部の位置づけ
- ・ 離域支部の位置づけ
- ・ 終身会費の未納の人が存在する
- ・ 予納金の用途
- ・ 130周年記念行事の内容

## 私の役割

- ・ 青木前会長と同様に、明治のためならば・・・ (青木前会長は、ミスター明治であった。教員出身のミスター明治を目指したい)
- ・ 校友会と大学との両方を知っている
- ・ 比較的若い (?) (67歳←95歳 (青木前会長) : 28歳の若返り)
- ・ 校友会と大学との橋渡しが、私の役割

## 私の基本理念

- ・ 明治は一つ
- ・ All明治を目指した、全員参加の校友会 (校友、教職員、在校生、父母会、体育会、)

各種OB会等との連携)

- ・大学支援・賛助が大目標：各人、各支部は大学の支援のために何が出来るかを考えよう！

### 校友会の基本理念（私案）

- ・大学の発展に役に立つ校友会
- ・やりがいのある校友会へ
- ・卒業生全員の立場に立った校友会
- ・地域社会との関わりを持つ校友会
- ・トップダウンよりはボトムアップ（現場）の優先

### 私の基本的方策

- ・情報公開を原則とする
- ・オープン化することで、風通しの良い、明るい校友会を目指す
- ・（インターネット、携帯、情報端末等による）情報発信、情報共有、コミュニケーションの活発化
- ・若手の参加促進、清新な気候を導入したい。
- ・女性会員の校友会活動への参加

### 当面对処すべき二つの具体的課題

以下の二つの仕組みの構築と構築

1. 若手・女性の校友会参加（将来の布石と校友会活性化のために）
2. 情報の共有化（校友、校友会、大学、校友本部、他組織との間の情報の発信と対話のために）

### 若手の校友会参加のために

- ・新卒者、転勤、移動した人を積極的に支部に招く。
- ・役に立つ、面白い講演会を総会に連動させる。
- ・新人が気楽に連絡できるように、各支部、各地域支部への連絡先窓口を決めてネット上で明らかにする仕組みを作る（本部も関与して紹介をする）
- ・インターネット（ホームページ、メール等）や携帯の積極的活用
- ・各支部からのアイデアの募集・紹介

### 情報の共有化のために

～紫紺会ネット（仮称）の構築に向けて～

- ・インターネット（ホームページ、メール等）や携帯（将来は情報端末）を活用した情報の発信・受信
- ・一生涯使えるメールアドレスの付与（世界中何処へ行っても連絡できる）
- ・メールマガジンの発行（大学情報の発信）（郵便費が節約できる）
- ・ホームページ上で大学・校友会本部・支部、地域支部、ネットをつなぐと共に、体育会、各OB会、父母会等をネットをつなぎ、オール明治を構築する一途とする

### ホームページ・メール・携帯等を用いた情報コミュニケーションの試みの提案

- ・明治は一つの仕組みの構築
- ・明大ファミリーの構築
- ・地域の活性化と地域情報の全国発信
- ・新しい校友会の形態を探る
- ・若者のために
- ・130周年の記念事業としてはどうか（不景気のとき、寄付疲れの時、モノよりは仕組みの構築を：ハード建築よりソフト建築）

### 具体的な方策（私案）

- ・若者の参加促進策の公募と実践
- ・女性の積極的参加策
- ・地域支部の活性化
- ・職域支部の検討
- ・国際化（海外支部の設置）
- ・学生の教育への支援
- ・終身会費の使途明確化

- ・校友会会則の改正（大学と連携が必要）
- ・明治大学オリジナル携帯の試み
- ・紫紺会ネットの構築（大学と連携が必要）
- ・紫紺館に校友談話コーナーの設置
- ・130周年記念活動のあり方（ハードよりソフトなもの（コト）の構築）

### 明治大学の精神と私の主義

- ・明治大学の建学の精神：権利自由、独立自治  
一個を強くする
- ・個人尊重主義：自分の依って立つところを深堀し、個性を伸展させること。それを他共に尊重し、他の自由を認める。
- ・党派を組んだり、他を強制したりすることをしない。多様性を認め、尊重する。
- ・主義主張は自由であり、議論は自由にすべきである。
- ・「個を強くする」ということは、自分勝手によいという意味ではない、他の個性も尊重し、他の自由を認める、ということである。
- ・その中で、「明治大学の発展を願う」という一点では、一致して同じ方向を向こう→明治は一つ

### 校友会の大学への支援策

- ・財政的支援
- ・教育の支援
- ・地域貢献（これが結局は大学の支援）
- ・講演を実施して地域の人々や高校生に大学を広報する
- ・研究の産学連携
- ・ベンチャービジネスの産学連携
- ・教育の産学連携

### 現代における校友会のあり方

- ・大学と校友とが一体とならなければ、21世紀における大学は発展することは出来ない
- ・大学と校友とが一体とならなければ、世界のトップスクールの実現は不可能
- ・大学と校友とが一体となるためには、校友会がキーステーションとならなければならない
- ・校友≠校友会⇒校友会＝“明治は一つ”のセンター
- ・誰でも知っていて、誰でもアクセスできる皆の校友会へ⇒ネットワーク活用以外考えられない：明治大学はその先駆けになろう！

### 明治大学の校友会のあり方

- ・卒業生にとって、明治大学は年を取ればとるほど好きになる不思議な大学である（母校愛）。
- ・明治大学には、色々な分野で活躍し、個性を伸ばしている人が多数いる（多様性）。
- ・明大人は、後輩をかわいがり、支援する（人間的信頼と絆）。
- ・明治大学を出たという縁（一生の縁）。
- ・帰るべき心の故郷、誇り高き母校（母港）があることは幸せである。
- ・我々の母校、明治大学の発展を願う、という観点では一致して同じ方向を向こう

### 新しい時代の校友会へ向けて

- ・伝統とは、建学の精神を変わらぬ基本として、常に時代に対応して変化していくことと心得ています。
- ・現在の我々と将来の卒業生までを考えて、明治大学校友会を作って行きたいと思えます。
- ・皆様のご支援、ご協力なしには出来ません。どうぞ、よろしくお願い致します。

## 古賀愛人支部長 ご逝去



明治大学校友会福岡地域支部長の古賀愛人氏（明治大学校友会相談役・福岡県支部最高顧問・元テレビ西日本社長）が12月10日心不全のため、福岡市南区の病院でご逝去されました。87歳でした。葬儀・告別式は親族のみで行われ、テレビ西日本が後日お別れの会を開く予定です。

古賀支部長は明治大学卒業後、政治部記者としてご活

躍されましたが、その後報道を中心にペンをふるわれ民間放送発展のために力を発揮されました。また明治大学校友会においても、福岡県支部長や全国校友会副会長に就任されるなど、母校発展のため力を尽くされました。そして永年日本の民間放送のために尽力された事が評価され、平成12年11月7日に「勲二等瑞宝章」を受章されました。まさに明治大学や校友会福岡支部の誇りでもありました。

5日前の幹事会には元気な姿を拝見したばかりでした。ここにご冥福を心よりお祈り申し上げます。お別れ会の記事などを次回報告させていただきます。

## 台湾台風被害見舞金

平成21年の夏は福岡でも豪雨に見舞われましたが、台湾では台風で甚大な被害がでた事はご存知の方も多いでしょう。その台湾には明治大学校友会台湾支部があり福岡県支部とも交流を深め、総会にはお互いに訪問をしているところです。また、台湾の福岡総領事の周碩穎氏が明大の校友という事で、常日頃から大変お世話になっています。

そこで、台湾の被害に少しでもお役に立てればという思いから、校友の方々に見舞金を募る事になりました。



お元気だった古賀支部長も見舞金を

募りました。募金は福岡地域支部総会や公開講演会の会場で行いました。そして9月18日、発起人の神永幹事と矢谷幹事長が台湾領事館を訪問し、県支部からの見舞金として周総領事に渡されました。右は毎日新聞に掲載されたその時の記事です。

### ◆台湾・台風被害へ義援金

死者・行方不明者600人以上を出した台湾の台風被害の復興に役立ててもらおうと、明治大学の卒業生で作る校友会県支部の役員ら18日、中央区板坂3の台北駐福岡経済文化弁事処を訪れ、義援金約15万円を周碩穎（せきえい）総領事に手渡した。

平成21年9月19日 毎日新聞

台湾では今年8月、台風による歴史的な豪雨で、南部の高雄県小林村で土石流が発生するなど、多くの人が命を落とし、現在も各地で復旧作業が続いている。今回の義援金は、周総領事が明大大学院出身で、交流があった校友会県支部が発案。役員らの神永正夫さん（70）が中心となって募金を呼び掛け、支部メンバー約60人が協力した。周総領事は「本当に感謝しています。できるだけ早く台湾に（義援金を）届け、復旧に役立てたい」と話した。

台風被害の義援金を受ける周総領（右）

## 光安 力氏 福岡市議会議員就任

南区選出の市会議員 光安 力（つとむ）氏が福岡市議会議員に就任されました。

この光安氏の議員就任のお祝いが、南区を中心とした校友有志によって8月5日、大橋の「田すずめ」で行なわれました。またこの日は福岡支部の幹事であります神永正夫氏（S37法）の古希祝いも併せて行なわれました。

光安氏は昭和48年明治大学政治経済学部卒で、平成7年4月福岡市議会選挙に初当選されておられます。以後4期にわたって連続当選され、その間各種の委員会の委員長を歴任されるなど活躍され、この度平成21年6月に福岡市の69代議長に就任されました。

光安氏をご自分のホームページで、政治家としての心構えとして「誠意をもって、人のため、地域のため、尽くすこと」をあげられ、「環境整備をはじめ、南部地域の道路整備が私の最重要課題、中でも生活道路・交差点の改良にいっそう努力します」と市制にける意気込み

を語っておられます。明大卒の議員が少なくなった昨今、光安氏の活躍に大いに期待したいものです。

当日は内田紀生氏（S40法）による開会の辞に始まり、小石原英照氏（S27商）と周碩穎氏（S50院法）からの祝辞、峯重新二郎氏（S30院法）ご発声による祝い芽出度、上杉鷹雄氏（S34年卒）ご発声による校歌斉唱などで祝宴は大いに盛り上がりしました。

(H9年商卒 女賀 信治)



## 福岡市地域支部総会と明治大学公開講演会

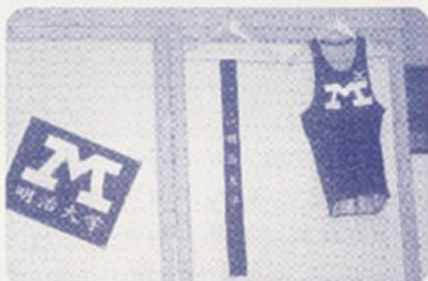
穏やかな初秋の9月12日(土)、福岡市地域支部総会と明治大学公開講演会がセントラルホテルフクオカで行われた。今年度の支部総会は総会終了後、県支部主催の公開講演会が予定されていたため、スピーディーに議事が進行された。まず本年度逝去された校友への黙禱から始まり、古賀支部長の挨拶そして会務報告、会計報告が滞りなく行われた。



エネルギッシュに競走部の復活を話される松本教授

支部総会終了後、午後3時より明治大学公開講演会が開かれた。この公開講演会は、大学の学術的資源を各校友会に提供し、より結びつきを強めて行こうとの考えから定期的に行われているものだが、福岡県では2回目の公開講演会になった。今回は、「明大箱根駅伝、復活への奇跡と展望」と題して明治大学商学部教授の松本穰(ゆたか)先生が講演された。公開講演会は福岡県支部主催という事で、県下の各地域支部から多くの校友が参加、一般の方も数名参加して会場は満席状態になった。会場には箱根駅伝で選手が使うたすきやランニングシャツ、明治大学の旗などが飾られ、箱根駅伝の臨場感がより一層感じられた。

大学の先生の運動クラブの話はどんなものだろうと期待半分不安半分だったが、始まってみると、先生のエ



箱根駅伝で実際に使われるたすきやランニングシャツ

ネルギッシュな話ぶりに我々は引き込まれていった。先生は商学部で松本ゼミを持たれているが、「教員生活の最初の10年間は体を張って教員をやった」というコメントに尋常でない情熱を感じた。その情熱を、当時弱体化していた競走部の復活に向けられたわけだ。



熱心に聞き入る満員の校友

明大競走部は箱根駅伝では過去51回出場(10位)し、優勝も7回(6位)している強豪チームだったが、最終の優勝

が昭和24年、最終のシード権が昭和40年ということで、先生が部長に就任された頃はその衰退ぶりが著しかった。先生は年度事に目標を



明大OGの奥様のご挨拶

決めて部員の意識改革から進め、大学にかけあって実力コーチを招聘したり、「明大箱根駅伝を応援する会」を発足させ、阿久悠さんや星野仙一さんなど明大OBの著名人に名を運ねてもらったりして、内からと外からと改革を進められた。そういった改革を、時には絶望感を感じながらもエネルギッシュに進めながら、「やっと昨年43年ぶりの箱根駅伝のシード権を獲得しました。」と話された。



県下の校友が集まり、話の花が咲きました

さらにこの11月1日に行われた第41回全日本大学駅伝大会でも3位の成績を収め(9ページ参照)来年度のシード権を獲得するなど、着実に成果がでており、この正月の箱根駅伝が大変楽しめた。

先生の松本ゼミには、体育会の学生も多く、野球の川上憲伸投手や相撲の玉力道などプロスポーツやオリンピック選手を輩出していることもお知らせしておこう。

さて、先生の楽しい講演会はあっというまに過ぎ、懇親会になった。松本先生の奥様が福岡出身、そして明大OGという事で先生も福岡が



懇親会での美人ぞろい(!)の女性も集まりました

大好き。その奥様も同席されての懇親会になった。乾杯の後、各地域支部からのあいさつや感想スピーチが続き、校友同士の楽しい会話もはずんだ。充実した秋の一日だった。

## 東の会 東の会開催！！

去る平成21年10月16日（金）、東の会が開催されました。

東の会は、校友会福岡支部に多大なる貢献をされた故松本英一先輩のご厚情に、少しでも応えて行こうと、故森泰播先輩が中心となり東区に縁がある諸先輩達が集まり結成され、すでに25年の歴史を誇っています。今年は、安永先輩経営の春吉の「金薫（KINTUTA）」で開催されました。今年のご子息の民主党国会議員の松本龍代議士にもご案内さしあげましたところ、国会等でご多忙中にもかかわらずご参加いただきました。

今回の東の会は、塩崎正臣先輩（S30年文学部卒）を始め12名の校友の出席でしたが、松本龍先生にご参加いただいたこともさることながら、東の会始めて以来初めて女性会員中村徳子さん（H4年経営学部卒）の参加がありました。12名の出席者でし

たが、なごやかな雰囲気の中、福岡駐台北総領事の岡先輩から差し入れていただいた紹興酒やワインを酌み交わしながら、金薫のお洒落な洋風肉料理をディナー形式で戴き、東の会は盛大に盛り上がりしました。最後は恒例の明治大学校歌を声高らかに斉唱し、また来年の再会を誓って解散しました。

（S52年商卒 東の会連絡係 大田 芳弘）



松本龍代議士（左から2人目）を囲んで

## 西の会 第4回 西の会 定時懇親会 開かる

去る11月21日西区室見川河畔の“三四郎”で「西の会」が賑やかに行われました。

荻原副支部長の乾杯の音頭で始まり、自己紹介のくだりからは今回初めて参加された方を含め、各人各様面白い話が続き、会の初めから大いに盛り上がりました。

当日は、松山参議院議員も自民党副幹事長という超多忙の中にも拘わらず顔を見せ、逆風の自民党の再生に向けて力強い決意が披露されました。西の会には、国会の松山議員と、県の田中議員、市には木原議員と三役揃い踏みでしたが、今は残念乍ら木原氏が涙を飲んでいます。

また、母校関連情報として「大学番付」（東洋経済10/22）の詳しい資料が配布され、石川遼君の明大入試のうわさ記事などの話題でも盛り上がり、母校の益々の発展振りに意を強くしたものでした。



自己紹介や大学番付などの話で賑わいました

最後はいつものように再会を約束し校歌斉唱、上杉副支部長の発声で普段より力のこもった“おーおー明治”の歌声が室見川の闇を打ち破って流れていきました。

（S32年工学部卒 井手 安美）

HONDA

PARTS

Hondaの部品・用品の卸・販売会社

## 株式会社 ホンダパーツ西南

取締役会長 佐々木 義宣（昭和37年文学部卒・柔道部OB）

本社 〒816-0092 福岡県福岡市博多区東那珂3-2-12

TEL 092-433-0433

営業所 福岡・北九州・大分・佐賀・香川・徳島・愛媛・高知



夏の定例会を開催しました。

雨のため天神のビアガーデンは中止し、会場を変更し、天神ソラリアビル内で焼肉を食べました。急遽、見つけた店でしたが肉の質が良かったのと若者の食量を見誤り予算をはるかにオーバーしてしまいました(苦笑)

川田宜尚君(画像右 H16年法卒 野村證券)が名古屋に転勤になり、送別会も一緒にさせて頂きました。

二次会は同じお店の中にあるカラオケルームへ移動しました。開始10分後は落ち着いた大人のカラオケでしたが・・・1時間後には焼肉のスタミナとア



熱唱する期待の新人  
八尋慶太君(H14商卒)

ルコールと暑さが影響し、みんな、おバカになってしまいました。男性陣は衣服を脱ぎ捨て、大合唱と変なダンスで日ごろのストレスを発散させていました。

さすが明治大、パワーあります(笑)。

(H9年商卒 女賀 信治)



ちなみにカメラマンの私も石迫大先輩に脱がされております。

## 福岡春日野部屋 激励会

今年も早くも大相撲九州場所の時期となり、春日野清隆親方をはじめ、年初の断髪式で鬘を切って男前度を増した二十山親方(元橋乃花)、マネージャー谷村竜太氏の吾らが校友の3名迎え、恒例の福岡明治春日野会が11月1日(日)「杉庵」で行われました。



挨拶をされる春日野親方

会の会長でいらっしゃる小石原先輩より開催のお言葉をいただくところですが、体調を崩され欠席となったことから、来年より新会長を務められる上杉先輩がまずは会長代行としてご挨拶です。

続き小倉より駆けつけていただいた勢支部長、相撲部OB中津留先輩、台湾領事館総領事 周先輩と叱

咤激励の言葉は続き、気がつけば宴もたけなわ・・・皆さんの自慢の喉でカラオケタイムです。残念ながら二十山親方の歌は披露願えませんでした。春野親方の「紫紺の歌」で会は最高潮です。



親方を囲んで参加者の皆さん

歌に続いての親方からの昨今の相撲業界のお話にも皆興味津々で聞き入ります。聞けば、20名以上の力士を抱える大所帯の春日部屋。若手力士も多いことから、今後の若手力士の成長が楽しみです。

また来年も多くの校友とお帰りをお待ちしております。

(H4経営卒 中村 徳子)

## 新年交礼会のご案内

福岡市地域支部の新年交礼会を下記の通り開催いたします。是非ご出席下さい。

- 日時 平成22年1月21日(木) 18時30分
- 会場 セントラルホテルフクオカ・3Fダイヤモンドホール  
福岡市中央区渡辺通4-1-2 TEL092-712-1212
- 会費 5,000円  
(但し、女性校友及び平成14年卒以降の校友は4,000円)
- 問い合わせ先  
福岡市地域支部幹事長 矢谷 学(昭50法卒)  
TEL092-631-3336(三栄印刷)



代表取締役  
**松山 孝義**  
(昭和60年 法学部卒)

**松山建設株式会社**

〒810-0011 福岡市中央区高砂2-24-23  
TEL 092-533-0001 FAX 092-533-0002  
e-mail:tm1999@pop06.odn.ne.jp

## 米沢嘉博記念図書館のご紹介

去る10月26日の日経新聞朝刊の「春秋」にこういう記事が載っていました。

——「今週末、東京の御茶ノ水に漫画とサブカルチャーの専門図書館が誕生する。名前は米沢嘉博記念図書館。3年前に53歳で亡くなった漫画評論家、米沢氏の蔵書14万冊を収蔵する。母校である明治大学の施設だが、一般の人も利用できる。——(中略)——明大は5年後に漫画やゲームなど200万点を集めた本格施設を作る。子供のものと世間で思われていたころから漫画に入れ込んでいた人々の蔵書を、協力して保管し後世に伝える場にする。官製「アニメの殿堂」は政権交代で中止されるが、景気対策のハコモノと違って、こちらの施設には民間の熱意がこもる。」——

この米沢嘉博記念図書館の話は10月31日のNHK「おはよう日本」でも紹介されましたので、ご覧になった方も多かったのではないのでしょうか。

明治大学にまた一つ、誇れる名所ができましたのでご紹介しました。

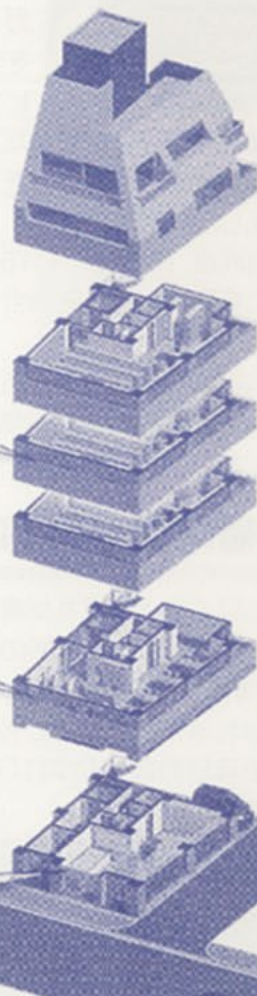
### 施設概要

施設機能：専門図書館（まんが・サブカルチャー）

館所在地：東京都千代田区築港町1-7-1

アクセス：JR御茶ノ水駅歩7分／神保町駅歩8分

建築規模：地上7階 延床面積：約810㎡



(米沢嘉博記念図書館ホームページより)

米沢氏は昭和28年、熊本市生まれ昭和47年工学部機械工学科入学。在学中からSF研究会やマンガ同人誌に所属。戦後マンガ史やマンガ論などの評論を多数出版されている。

詳しくは「米沢嘉博記念図書館ホームページ」をご覧ください。

[http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa\\_lib/](http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa_lib/)

### 東 法律事務所

弁護士 東 拓治

(昭和59年 法学部卒)

〒810-0042  
福岡市中央区赤坂1-16-13 上の橋ビル3階  
TEL 092-711-1822  
FAX 092-752-1287

### 三井税務会計事務所

代表 三井 成隆

(平成4年 商学部卒)

〒810-0001  
福岡市中央区天神4-8-25 ニッコービル6階  
(福岡税務署横、JA福岡信連前)  
TEL 092-718-0191 FAX 092-718-0391  
Email: mituitax@ybb.ne.jp







## 後輩達がスポーツで頑張っています！

●●● Topic

硬式野球部3季ぶりリーグ優勝／東京六大学秋季リーグ戦（神宮球場）



11月1日、神宮球場で行われた早慶2回戦で、慶応が早稲田を7-4で破り、勝ち点を獲得。これにより、明治の3季ぶり優勝が決定しました！

サッカー部がJ1山形に快勝！！／サッカー天皇杯



10月31日、サッカー部がJリーグ1部の山形に3-0で勝ち、大学勢で唯一4回戦に進出しました！大学のチームがJ1チームに勝ったのは初めてとの事です。

明大は68年メキシコ五輪銅メダリストの杉山隆一氏、現在解説者を務める木村和司氏、日本代表の長

友佑都選手（FC東京）らがOBとして活躍しています。高校卒業時点ではプロにはなれなかった選手たちは大学の試合を通じてプロのスカウトの目に止まるように一戦一戦、真剣なプレーと戦術研究を続けています。近い将来、明大卒の日本代表エースが現れる日も近いかもしれませんね。

競走部 総合3位！初のシード権獲得！／全日本大学駅伝

11月1日、秩父宮賜杯第41回全日本大学駅伝が行われ、明治大はスタートから好調なペースを維持し、3位でゴールを決めました！この内、5区の安田君（情コミ4）と7区の遠藤君（文4）は区間賞を獲得。この結果、本学は全日本大学駅伝にて初のシード権を獲得しました。



（写真提供：明大スポーツ）



## 第13回東京6大学OB会ゴルフ会 優勝！！

●●● Topic

去る11月14日に古賀GCで開催された第13回東京6大学OB会ゴルフ会におきまして、見事わが明治OBが優勝いたしました！仕事のかたわら（？）



磨いた技は他校を蹴散らし余裕の勝利でした。なお対象メンバーは大黒（72.6）、山田（72.6）、山内（73.6）、松本（74.4）、藤瀬（75.2）の5名。個人でも大黒は2位、山田は3位、またベストは山田でした！（敬称略）

参加した校友の皆様お疲れ様でした！



追伸：優勝トロフィーを受け取る矢谷幹事長は、K大T大のホームグラウンドだったのでまさか優勝するとは思わずかなりお酒が入っていたそうです。

### 団体戦

順位	大学名	合計ネットスコア
優勝	明治大学	368.4
準優勝	東京大学	373.4
3位	法政大学	374.4
4位	慶応大学	375.8
5位	早稲田大学	377.8
6位	立教大学	391.8

### 個人戦（敬称略）

順位	大学名	名前	ネットスコア
優勝	早稲田大学	南川洋一郎	72.6
準優勝	明治大学	大黒勇一郎	72.6
3位	明治大学	山田 記義	72.6
4位	慶応大学	上野 光典	73.0
5位	早稲田大学	野中 大蔵	73.4
6位	明治大学	山内 計寿	73.6
7位	法政大学	向江 健二	73.8
8位	慶応大学	穴井 孝稔	73.8
9位	立教大学	大嶋 康博	73.8
10位	東京大学	小林 至	73.8
20位	法政大学	船越 勝治	75.6
30位	慶応大学	松居 正治	77.6
40位	慶応大学	大場 理加	79.2
50位	東京大学	嶋 哲久	80.2
60位	明治大学	高松 康祐	82.4
70位	早稲田大学	安川 剛史	83.6
80位	明治大学	伊東吉之助	87.2
90位	立教大学	重松 克寛	101.0



今回の校友紹介では、3人の校友の近況や活動をご紹介します。まずは41年卒の式守美代子さんです。

明大を卒業して四十数年になります。昨年、ピアニストの娘 満美へのご支援をお願いいたしましたところ、諸先輩、後輩の方々の温かいお言葉、お声かけ、そして後援会にご入会いただくなど大変お世話になりました。また今年念願のロンドンでのオーケストラとの共演も実現し、この際にも校友の方々のお力添えをいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。何と御礼を申し上げてよいかわかりません。

さて、私は娘の留学をきっかけに英語を勉強し直して、子供たちに英語を教えています。今年（平成22年）は日本全国の小、中学校が千校近く無くなると聞いており、益々の少子化の中で、今、文明社会で失われ、忘れられてしまっている大切なものを何かのきっかけで取り戻し、また見つけていけるのではないかと思います。子供達と一緒に勉強をしており、子供達

を育てる事により私達も日々育てられ、そして次の世代に何かをバトンタッチして行けたらと願っております。



式守美代子さん（左）・満美さん（右）

また、娘の音楽もその役割の一部を果たせるのではないかと考えております。

明大校友会の皆様方にパワーをいただきたいと思っております。私は年齢だけは先輩に当たりますが、校友会の皆様全員が大先輩のような気持ちなのです。

今までのお礼とそしてこれからもよろしく願いいたします。

S41政経卒 式守 美代子

次は地域支部幹事で昭和56年卒の鈴木弘幸さんの近況報告です。

### Have A Cup Of Coffee

#### ハコックコーヒー店オープンのおしらせ！！

校友の皆さま、こんにちは。昭和56年政経卒、スケート部OBの鈴木弘幸と申します。この度、念願の自家焙煎珈琲豆の販売を目的に、喫茶店を地下鉄金山駅徒歩0分、菊池橋交差点近くのところに開店いたしました。店内サービスとしまして、コーヒー1杯350円（おかわり150円）で各種ストレート豆、また当店自慢のブレンドと、世界中の味をお楽しみいただけます。今後はパン類を中心とした軽食メニューも充実させていきたいと考えております。また、はかた珈琲工房の通信販売でご利用頂いております、各種ギフトセットも店内にて販売中です。さ

らに開店記念と致しまして、1月15日までの期間は、販売豆50%増量サービスで皆さまのご来店をお待ちいたしております。これから先、校友の方々がくつろげる空間を提供していきたいと思っておりますのでぜひ一度お立ち寄りくださいませ。また皆さまにはご来店の際、校友である旨お伝えくださいますと、ビッグサプライズが待っていますことを付け加えさせていただきます。開店の挨拶にかえさせていただきます。

店名：ハコックコーヒー  
所在地：城南区七隈3-5-1  
tel&fax：801-3311

S56政経卒 鈴木 弘幸

最後に福岡市地域支部にも以前所属していた廣谷信幸さんです。

### ■人生百年シナリオ&マネーセミナー



セミナー風景です

人生のゴールを百歳と見立て、幸せな人生を歩むために必要な、①健康 ②仲の良い家族・仲間・生きがい ③お金

をいかにバランス良くつくっていくか、を参加者の方々とシェアし、それぞれの人生のシナリオを描いていただきます（ワークショップ形式）。

人生のゴールを百歳にすることで80歳～90歳でどういう状態でありたいか。

70歳は・・・60歳は・・・。仕事は・・・家族は・・・お金は・・・。

ゴールを遠い先に置くことで広がる世界を伝えたい！お気軽にご参加ください。

■日時 1月16日（土）・2月20日（土）・3月20日（土）  
（受付14時00分～）14時30分～17時00分

■場所 リーガロイヤルホテル小倉2F  
コルペーゴ特別室 JR小倉駅前 新幹線口

■受講料 無料（コーヒー付）

■定員になり次第締め切らせていただきます。

お申込み・お問合せは、

フリーダイヤル 0120-604-404まで。

キーストーンコンサルティング（株）代表取締役  
H元政経卒 廣谷 信幸



株式会社 ホンダパーツ西南  
取締役会長 佐々木 義宣 氏  
昭和37年文学部卒業。柔道部OB。  
福岡県福岡市出身。

明治大学柔道部は学生柔道界の強豪の一角を占め、その長い歴史と伝統の中で数々の名選手を輩出。東京オリンピックで正式種目となった柔道の無差別級に出場し、決勝戦でオランダのヘーシング選手と対戦した故・神永昭夫校友（福岡地域支部幹事・神永正夫校友の兄）は、日本柔道界のトップ選手として活躍しただけでなく、引退後は明大柔道部監督、全日本監督、全日本柔道連盟の初代専務理事を務めるなど、多大な功績を残す。その神永校友の強さに憧れて明大柔道部に入部したという佐々木校友は、柔道選手としてはスマートな体格ながら、4年間の厳しい練習に耐えつつ、人に対する優しさや思いやりの心を学んだと述懐。その物静かな口調は校友会活動を陰ながら支えてきた謙虚な姿勢とも重なる。

佐々木校友が柔道を始めたのは中学時代。柔道選手としては決して恵まれた体格ではなかったものの、強くなることへの憧れから日夜、練習。その柔道熱は高校進学後も冷めるところか、ますます激し、柔道の練習にどっぷりと浸かる日々を送っていた。そんな佐々木校友が高校1年の時、明大や日大、天理といった柔道の強豪校や実業団で活躍する有力選手が出演する「第一回全日本選抜新人柔道選手権大会」が福岡スポーツセンターで開催。一流選手の試合ぶりに期待を膨らませて観戦に訪れた佐々木校友はそこで、同大会に弱冠19歳の最年少出場ながら、見事優勝を飾った神永昭夫校友の柔道にすっかり魅せられる。

「最年少の出場選手でありながら、どんな相手にも怯むことなく対峙し、積極果敢に立ち向かっていく神永選手の戦いぶり、さらには神永選手が繰り出す技のキレ、スピードを目の当たりにした私は、“何てすばらしい柔道をする選手だろう”と、すっかり“神永ファン”になってしまいました」

その約1年後、今度は明大柔道部が遠征試合のために来福。“神永柔道”見たさに会場を訪れた佐々木校友だが、そこで地元勢を圧倒する明大柔道部の選手の活躍ぶりに瞠目。以後、明大柔道部員になることを目標に、文武両道に勤しむ。

昭和33年に明大に入学し、憧れの神永校友が4年生で主将を務める柔道部に入部。だが、そこで待っていたのは、上下関係の厳しさ、練習の激しさだったと佐々木校友は振り返る。

「1年生は練習が始まる一時間前には道場に行って掃除に取り掛かり、それからぼつぼつと道場にやってくる上級生に大声で挨拶して道着を湿らなければなりません。そして、いざ、練習が始まると、三時間あまり上級生に徹

底的に鍛えられる。また、練習が終わったら終わって、風呂で上級生の背中を流し、最後に1年生が入浴して上級生の道着を洗濯するわけです。そんな辛い毎日の中、旧小川町校舎の5階にあった道場に続く階段を上る気分も足取りも重くなり、そのまま引き返そうかと何度思ったことか。それでも退部しようと思ったことは一度もありませんでした。やはり、柔道が好きだったのでしょうか」

部員生活のハードさのあまり、全国各地から入部してきた50人あまりの“猛者”たちも一人、また一人と脱落。2年生になった時に同期は約20人に。そして、4年で卒業する時の同期は10人を数えるまでになったという。その10人の中には、神永昭夫校友の弟で、卒業後は旭化成のグループ企業である東洋醸造に入社し、実業団の選手としても活躍した、正夫校友の姿もあった。

「大学卒業後に入社した三井建設に柔道部が誕生。私もその一員として柔道を続け、昭和39年の東京五輪では初めて階級制が導入された軽量級の日本代表候補に選ばれました。しかし、力及ばず予選で敗退した私はその2年後に帰福の念願叶って福岡に転属。同時期に正夫校友も福岡勤務となったことで、大学在学中と同様の付き合いが再開しました。以来、その付き合いは、半世紀にもわたります。一方、その正夫校友との繋がりもあり、昭夫先輩には学生時代にさまざまな薫陶を受けただけでなく、社会人になってからも懇意にさせていただきました。そうした中、昭夫先輩の人間的魅力に触れることができたのは私の大きな財産。よき先輩、よき友との出会いをもつことができ、つくづく柔道をやっていたよかったと思います」



20代の頃、神永正夫さんと。

そう話す佐々木校友は、ゼネコン全盛期に三井建設九州支社の営業部長を務めた後、平成三年にホンダの幹部と昵懇だった関係で義父が半世紀近く前に創業した現在の会社に入社。社長を経て今年から会長職を務める。

「社会に出てからもいろいろと困難な局面に直面することもありました。しかし、それを乗り越えることができたのも、明大柔道部時代の辛い経験があったからこそ」

どこまでも控えめに淡々と語る口調に、佐々木校友ならではの人柄が滲む。

(H元文卒 高藤 博文)

機能だけではなく、  
快適という基準  
今からのまちに必要だと思う。  
誰もが感じる気持ちよさ  
これからのいろんなところで  
カタチにしていきたい。



いつも人が  
発想の原点。

株式会社 **松本組** 代表取締役社長 松本優三 (56年商学部卒)

[本社] 〒812-0054 福岡市東区馬出1丁目1番19号 TEL.092-651-1031 (代)



日経進学NaViが毎年行っている現役高校生を対象にした志望大学及び志望理由に関するアンケート調査で、明治大学が昨年に続き全国1位に輝いた。

調査結果を見ると、学びたい内容を優先して学校を選ぶ高校生の比率が最も高いなど、高校生が考える大学選びのポイントが浮かび上がっていると日経進学NaViでは分析している。昨年に続き、母校が志望大学のトップというのは誇らしいものですね。

### 志望大学ランキング<全国>

順位	学校名	人数
1	明治大学	124
2	早稲田大学	117
3	法政大学	115
4	日本大学	106
5	立教大学	105
6	青山学院大学	86
7	東洋大学	75
8	中央大学	73
9	慶應義塾大学	72
10	立命館大学	69

### 時代のニーズに即した学部・学科がある

順位	学校名	人数
1	明治大学	85
2	法政大学	80
3	立教大学	77
4	早稲田大学	74
5	日本大学	72
6	青山学院大学	68
7	東洋大学	57
8	立命館大学	53
9	中央大学	46
10	関西学院大学	44

### 実践的な授業を積極的に行っている

順位	学校名	人数
1	早稲田大学	57
2	法政大学	56
3	明治大学	49
4	立教大学	49
5	日本大学	44
6	中央大学	36
7	慶應義塾大学	33
8	青山学院大学	32
8	東洋大学	32
10	筑波大学・立命館大学	25

### 就職活動支援に熱心

順位	学校名	人数
1	明治大学	39
2	法政大学	37
3	中央大学	30
3	日本大学	28
5	早稲田大学	27
6	立教大学	23
7	立命館大学	21
8	青山学院大学	20
8	専修大学	20
10	慶應義塾大学	19

### 教養や社会人としての常識の教育に熱心

順位	学校名	人数
1	早稲田大学	28
2	法政大学	24
3	立教大学	22
4	慶應義塾大学	21
5	明治大学	19
5	青山学院大学	19
7	中央大学	18
8	学習院大学	16
9	同志社女子大学	14
10	関西学院大学等	13

### 充実した学生生活を送れる

順位	学校名	人数
1	立教大学	50
2	青山学院大学	46
3	早稲田大学	35
4	関西学院大学	32
5	上智大学	31
6	関西外国語大学	22
7	明治大学	21
7	慶應義塾大学	21
9	神田外語大学	20
9	独協大学	20



### 編集後記

新春のお慶びを申し上げます。昨年は民主党の政権交代や新型インフルエンザの世界的流行など大きなニュースが続きました。そして、この支部だより締切り直前の古賀支部長の突然の訃報です。5日前に元気な姿を拝見したばかりでしたので驚きました。ご冥福を心よりお祈りいたします。

さて、今年も「寅」は春が来て草木が生じる状態を表しているそうです。向殿新校友会会長の情熱に満ちた考えを拝見すると、寅年にピッタリの動きではないかと思われそうです。おりしも明治大学は今回も高校生の志望大学ランキングで第1位に輝きました。私達校友にとっても母校の明るいニュースは大きな喜びでもあります。新しい校友会会長ののもと、これからも母校発展と校友会充実のため、できることから取り組んで行きたいものです。

いつもながら今回も広告に協賛していただきました校友の皆様にお礼を申し上げます。またこの号より編集委員に二人の校友に参加してもらった事になりましたので紹介いたします。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

編集委員一同

編集委員長	本田	博志 (昭52法)
委員	佐野	貞和 (昭59工)
"	三井	成隆 (平4商)
"	今井	葉子 (平4営)
"	中村	徳子 (平4営) (新)
"	石迫	弘久 (平8文)
"	女賀	信治 (平9商) (新)
校友会事務局	矢谷	学 (昭50法)
"	高野	礼子 (平元法)